

# 安全センター

## 私たちは、制度の改善を重ねています

2月14日、全国安全センター、労務医連主催の「じん肺アスベストプロジェクト」が東京で開かれ、参加してきました。その中で、国に改善を申し入れる内容なども議論しました。

アスベスト による肺がんの労災認定件数が少ないのは、認定のハードルがあまりに高く設定されているからですが、安全センターは不支給に対してアスベスト被害者の裁判を支援しており、新聞でも「原告側

あなたのそばに  
かならず  
石綿が原因の  
肺がんの人がいます  
喫煙していても  
石綿で肺がんになります  
でも  
石綿で肺がんにならないという  
間違いを言う  
医師も時々います

2015.8.4 朝日新聞

神奈川県に住む主婦渡辺久子さん(68)の元に、封書が届いたのは、2006年夏のことだった。2年前に退職した県内の自動車部品会社からだった。

「費用を3年間負担するので、肺の検診を受けてほしい」と書かれていた。プレキの組み立てや製品チェックを担当していたが、部品にアスベスト(石綿)を使っていた時期があったという。

渡辺さんはかつての同僚と一緒に、神奈川県立循環器呼吸器病センター(横浜市)でX線検査など

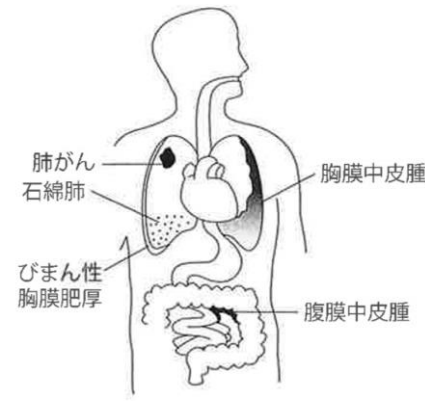
神奈川県の住む主婦渡辺久子さん(68)の元に、封書が届いたのは、2006年夏のことだった。2年前に退職した県内の自動車部品会社からだった。

「費用を3年間負担するので、肺の検診を受けてほしい」と書かれていた。プレキの組み立てや製品チェックを担当していたが、部品にアスベスト(石綿)を使っていた時期があったという。

渡辺さんはかつての同僚と一緒に、神奈川県立循環器呼吸器病センター(横浜市)でX線検査など

### 患者を生きる

2853 がん



石綿によって起こる主な疾患と部位

9勝0敗」と報道されています。この勝利を背景に、全国安全センターは、厚生労働省に認定のハードルを下げるよう見直しを迫っています。

「25本/立方cm×年以上の石綿累積ばく露が推認できる場合」を独立した認定基準として設定するよう求めています。

増え続ける化学物質の規制に関

尼崎労働者安全衛生センター議長 末吉 幸雄

[発行]  
尼崎労働者安全衛生センター  
[連絡先]  
〒660-0802  
尼崎市長洲中通 1-7-6  
TEL・FAX 06-4950-6653

安全と衛生の講演会  
「介護と就労を  
両立させるには」  
講師：津止 正敏さん  
03月31日(木) 18時～  
●於 中小企業センター  
○無料。どなたでも参加可

### 「肺の検診を」届いた封書

検査では、がん細胞を捉えることができなかった。

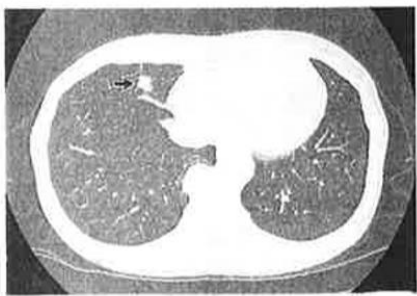
胸に影があると分かっていたが、「影が大きくなって、体のあちこちへ飛んで行くのでは」と気が気でなかった。渡辺さんは「石綿のせい」と気にしたが、医師からは「石綿の影響でなるのは中皮腫というがんですが、渡辺さんは違いますよ」と言われた。

58歳で早期退職するまでの28年間、大きな病気を患ったことはなく、たばこも吸わない。せきや息苦しきもなかった。「どうして肺

### 副作用と向き合う①

がんなんだろう

12月中旬、同センターで手術を



渡辺さんの肺のCT画像。矢印の先に小さく写る腫瘍は、約1センチの大きさだった

受けた。右胸に4カ所穴を開け、胸腔鏡を入れて患部の状態を確認しながら、中葉を摘出した。病理検査の結果、肺を覆う胸膜に達する「胸膜播種」の状態だった。手術では取り切れない腫瘍が体内に残っている可能性が高いという。

現在の診断基準では胸膜播種があると、病気の進行度合いを示す病期は「ステージ4」に該当し、5年生存率は1割を切る。

「手術で、悪い影がきれいに取れたらいいな」  
渡辺さんの希望は、かなわなかった。

◆5回連載します。(宮野祐美)

### 恐ろしい、こんな戦争もある

◆UAE、外国人秘密部隊を投入か 26日付の米紙ニューヨーク・タイムスは、内戦状態にあるイエメンに、アラブ首長国連邦(UAE)がコロンビアなど中南米出身の雇傭兵で構成する秘密部隊約450人を投入したと報じた。関係者の話として、UAEはイエメンのハディ監定政権を支援するため軍事介入しているが、UAE国民の間では内戦への関心や参加意欲は低い。投入されたのはコロンビア軍の元兵士ら。左翼ゲリラグループのア革命軍(FARC)との戦闘経験が買われた。(ニューヨーク共同)

### ・ 1.17を忘れない ・

阪神・淡路大震災から21年目の1月17日、私たち安全センターと中皮腫・アスベスト疾患患者と家族の会尼崎支部は、アスベスト被害の根絶を訴えるチラシをJR尼崎駅で配布しました。



しても、「多くの労働者が健康被害にあつてから規制するのではなく、安全を確認したのから使用許可を出すルールにすべきだ」と厚生労働省に働きかけています。また、国際的に発がん性が確認され、現にわが国の作業現場で使用されている発がん物質については、原則として特化則

の規制対象にする方針を確立する事を求めています。

私たち安全センターの果たしている役割は大きいのです。小さな積み重ねが行政を動かしていきます。身近な安全衛生に関することや労災申請のご相談があれば、いつでも声をかけてください。



# 話題が次々、安全衛生委員会テーマの交流



尼崎や阪神間の職場で、今、法律どおり労資対等の安全衛生委員会を毎月実施できている職場がどのくらいあるでしょうか。二月二十五日、この日の交流会は全国一般富士レジンで開かれ、六つの職場から安全衛生委員会の報告がなされました。

それぞれの議事録には、産業医も含めた委員の出欠状況や始まりと終わりの時間をきちんと書き込んだものからそうでないものまでありました。現場の写真やグラフを多用して議事録も段々わかりやすくなっています。

## 存在感のある産業医も

やたらとヒヤリハットの報告の多い所―職場に相当問題があるのかそれとも提出に強制力が働いているのか。産業医が風呂場のタイルのがれ具合の点検から三六協定を守ることの強調まで、存在感を示している職場もありました。(二カ月時間外平均八〇時間以上六名、一〇〇時間もある)

毎月の安全パトロールもマンネリ化していると言いながらそれでもワイヤーの点検(点検済みは色つきテープで明示)から救急箱、換気扇、給湯器から冷蔵庫の中まで丁寧にチ



エックされています。健診も一般健診のメタボ判定(メタボ該当六%)とからピロリ菌検査(陽性者複数)、じん肺検診(四五名受診で異常あり・管理区分Ⅱが二名と)、スチレン・フッ化水素等の有機溶剤・特定化学

物質検診まで多項目にわたっています。安全靴にガラスが刺さって足の甲まで貫通したとか、もつと軽くて滑らない安全靴に変えてほしいという職場の要求も紹介されました。

臨時ごみ収集での手指骨折やリフターからの転倒事故など災害報告・検討については次回の交流会回りになります。以上の他にも、自社外国工場での事故例報告や重量目測訓練の実施、リスクアセスメント、私たちの心配しているストレスチェック導入の準備など、一つひとつが独立した交流会のテーマになる程でんこ盛りの交流会になりました。企業はできるだけ自分の所の壁を高くして情報と労働者の中へ囲い込みますが、私たちはできるだけ壁を低くして、情報公開と企業の塀を超えたなかま同士の交流を強めていきます。

## 老朽化原発の稼働、さらに20年

原子力規制委員会は二月二十四日、運転開始から四〇年を超えた関西電力高浜原発一、二号機について、新規基準に適合しているとして事実上の審査合格を決めました。



高浜原発

福井の原発は私たちの水が琵琶湖にも近く、老朽化した原発をさらに二〇年経済的な理由で運転延長する

「オルト・トリジン」でした  
安全センター顧問 松原保  
私は長い間尼崎市のごみ焼却工

査工事が途絶えており、非常にきびしい環境の中で事業運営を余儀なくされてきた。しかし、平成二十七年八月の九州電力川内原発一号機の再稼働に続き、一〇月には同二号機、そして本年一月には関西電力高浜原発三号機が再稼働し、今後徐々に原発市場の回復が期待される状況にある。これら再稼働した原発が定期検査に入り、当社の収益につながるまでは、今少し時間が必要であるが、事業環境は確実に回復に向かいつつあると考える。『今季は、福島第一原発の汚染水処理に関わる遮蔽体の受注が大幅に減少したことが主因で、受注高が伸び悩んだ』―企業の決算報告としては当たり前のことを言っているのかもしれませんが、原発を言いながらすでに環境などほかの分野への進出を図っているのかもしれない。(高浜三、四号差し止め仮処分!)

私が経験したのは  
「オルト・トリジン」でした  
安全センター顧問 松原保  
私は長い間尼崎市のごみ焼却工

場に勤めていました。仕事の内容はボイラ運転・管理でした。このボイラ運転・管理の中で、ボイラに必要な水は、プルスイオン・マイナスイオンの電解質を除去した純水でなければなりません。当初は尼崎市の上水から純水装置を利用して純水を作っていました。この純水装置が正常に運転されているか否かを点検するために、様々な水質検査を行います。上水は消毒のため次亜塩素酸が注入されており、純水装置には多少なりとも負荷がかかります。このため市水の原水に含まれる残留塩素量により、純水装置の再生時に使用する薬品量を増減しなければなりません。そのために原水の水質検査をしていました。この水質検査試験薬として「オルト・トリジン」を用いています。「オルト・トリジン」を報告は「オルト・トリジン」です

私たち安全センター交流会でMSDS(化学物質等安全データシート、現SDS)に関する学習が行われ、場内で使用するすべての薬品のMSDSを取り寄せ、調査をおこなった結果、「オルト・トリジン」を発ガン作用物質と確認し、劇薬物保管庫に移しました。そして作業内容を変更、使用をとりやめました。

可能な限りの作業手法の変更にての使用停止、作業手法が変更できない場合には安全な代替品の使用をおこなうべきです。